

想いが実現できるまち

きたくナーレBOOK

2013





CONTENTS

北区魅力創造の仕組み…………… 3
 北区の魅力(対談：橋爪紳也 × 藤尾政弘)…………… 5
 みんなの想いが実現できるまち…………… 7

実践者に聞く

・梅田ミツバチプロジェクト…………… 8
 ・クラウドファンディング「キッカケ」…………… 9
 ・自転車シェアリング コイデコ × ハブチャリ…………… 10

北区プロデュース委員が語る！
 北区の魅力向上の可能性…………… 11

魅力創造プロジェクト

・扇町公園魅力づくりプロジェクト…………… 14
 ・都会の菜園プロジェクト…………… 15
 ・憩いのお花畑プロジェクト…………… 16
 ・魅力発信プロジェクト…………… 17

北区情報

北区のデータ…………… 19
 北区魅力マップ…………… 21

北区プロデュース委員会とは？

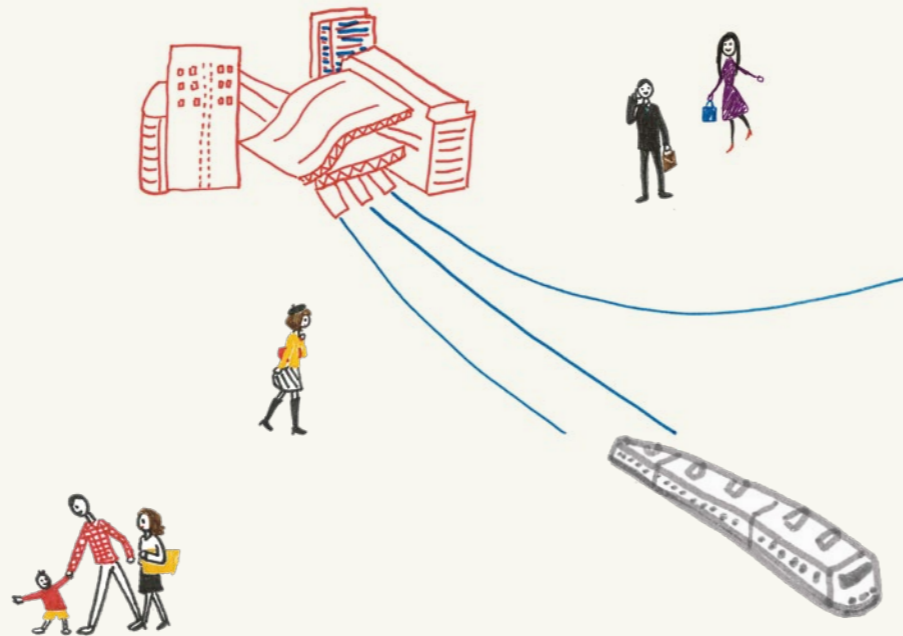
北区魅力向上事業を進めていく上でのアドバイザーボードとして、学識経験者から民間企業の代表の方まで、さまざまな分野の第一線でご活躍の個性豊かな12名の委員にお集まりいただきました。

北区の地域資源を活用しながら、北区の魅力を高めるとともに、新たな魅力をつくっていくために、本年度実施した魅力の発掘をめざした「きたくなるまちコンテスト」や新たに立ち上がった「魅力創造プロジェクト」へのアドバイスをいただきました。

※北区プロデュース委員会は、北区魅力向上事業受託者によって設置されたものです。

「あなたがワクワクするまちは
 どんなまちですか？
 さあ一緒に、
 魅力あふれる北区をつくっていきましょう。」

北区に住んでいる人、働いている人
 学んでいる人、遊びにくる人……
 このまちと関わりをもつ、すべての人が
 主役になれる
 北区にようこそ！



この本では、このまちの魅力を高めたり、
 新しい魅力を創るための
 仕組みや考え方、実践者の取り組み、
 新しく立ち上がったプロジェクト等を通して、
 まちの魅力づくりの可能性をお届けします。

「北区魅力向上事業」を進めてきました。
 北区役所では、
 北区に愛着をもち、
 来たくなる、住みたくなる
 魅力的なまちをめざして、



北区魅力創造の仕組み

北区魅力創造ビジョン

理念

みんなで、
“ワクワク”する北区へ!



目標

「このまちが好き」「住みたい」「働きたい」「学びたい」「薦めたい」という気持ちを高め、多くの「北区ファン」を募り、「みんな」が主役のまちづくりを促進することで、安心して楽しく快適に過ごせるまちをめざします。

目標の達成にむけた3つの視点

1

北区らしい魅力の テーマ設定

立地環境や地域資源（人、モノ、サービス、伝統文化、都市景観、環境等）、シビックプライド（都市に対する住民の誇り）の醸成等、北区らしいテーマを設定する必要があります。

2

多様な人材・団体との ネットワーク

住民、企業、学校、通勤・通学者等、多様な人材・団体とのネットワークを活かすため、さまざまな方がつながるプラットフォームづくりを進めていく必要があります。

3

新たな手法の導入

ICT等の新しい手法を効率的・効果的に取り入れていく必要があります。

基本方針

1. 地域の資源を活かした魅力あるまち

北区ならではの立地環境や地域資源、多様な人材・団体とのネットワーク等を活かした魅力向上を図ります。

2. みんなの想いが実現できるまち

北区の魅力向上に向けた事業・アイデアを具体化していく仕組みをつくります。

3. 戦略的な相互情報発信

北区の魅力を一方通行で発信するだけでなく、区民それぞれが感じるまちの魅力をみんなで共有できるようにします。



北区魅力創造プロジェクトの進め方

北区魅力創造ビジョンを実現するためには、行政だけでなく北区に関わる「みんな」が主役となって、プロジェクトを展開できる仕組みが必要だと考えました。
北区というステージで、「こんな事をやってみたい!」、「こうしたらもっと北区が楽しくなるのに!」、そんなあなたの想いを、次のSTEP1～4を通して具体化していきませんか?

STEP

プランづくり

「こんな事をやってみたい!」、「ワクワク」の種を育てるために、まずはどんな事を、誰が、どうやって進めていくのか考えるところから始めましょう!



北区では、北区らしい魅力をテーマとしたサロンやワークショップ等を開催し、さまざまな方がつながる機会を提供していく予定です。
1人ではできないことも、仲間が集まれば実現できるかも!

STEP

実践!

プロジェクトの立ち上げ時は、想定外のことが発生するかもしれません。つくったプランをもとに、落ち着いて実践しましょう!



北区では、プロジェクトの趣旨に賛同し、その実施を応援する「後援」や、プロジェクトの内容を北区役所ホームページ等に掲載する「広報」等の支援を行います。*ただし、北区が規定した条件を満たす必要があります。

STEP

振り返り・評価

プロジェクトは、実践して終わりではありません。実践で成功したことや、失敗したことをもとに、プロジェクトをよりよくしていく方法の手掛かりを探しましょう!



北区では、プロジェクトの成果発表会等を開催し、さまざまな方からプロジェクトを評価してもらうことで、改善点を見つける機会を提供していく予定です。
じぶんたちでは気づかない、新たな発見があるかも!

STEP

プランの見直し

継続できる自立したプロジェクトをめざして、自らの振り返りや、さまざまな方の評価をもとに、今後のプロジェクトで何をどうするかを考えましょう!



STEP1に戻って、プランを改善しながら自立したプロジェクトをめざしましょう!

北区の魅力

北区には多くの地域資源があります。それらを活かしながら北区の魅力を高め、新たな魅力を創っていくために、私たちはどのように北区の魅力をとらえればよいのでしょうか。北区プロデューズ委員会の橋爪委員長、藤尾副委員長のお二人に「北区の魅力」について語っていただきました。

すし、誇りを持っています。

——北区での思い出は？

橋爪委員長（以下、敬称略）・私はミニミの出身ですが、大学生の時は梅田の東通り商店街で遊んだり、天神橋筋六丁目に友人を訪ね、市場の辺りのお店にはよくいっていました。個人的なお店が多く、真夜中に開くウナギ屋さん等もありましたね。

藤尾副委員長（以下、敬称略）・私は天満宮はよりどころになっています。天満宮を中心とした地域の人のつながりのあるまちで生まれ育ったことに感謝しています。

天満で育った私にとっては、大阪天満宮はよりどころになっています。天満宮を中心とした地域の人のつながりのあるまちで生まれ育ったことに感謝しています。

——北区の魅力はどことなくどこでしょう？

橋爪・北区には昔からつくづく地域のコミュニティがあり、古きよき大阪を連想させる界隈が随所に残っています。

一方で、世界の中で存在感を示す大都市・大阪の中心という面も持ち、梅田や中之島にはオフィスビルや商業施設等が集積し、新しい開発も進んでいます。古いものも新しいものもある、そこが北区の大魅力だと思います。

大阪が東洋一の商工地として栄えた大阪の時代、中之島周辺はその中心のひとつでした。美しい橋をかけ、中之島公

園を整備し、東洋のバリ等と呼ばれる、日本でもっとも近代的なまちなみがここにできました。また、中央公会堂や朝日会館があったことで、世界の新しい文化や美術が、まずは北区から日本に紹介され広まっていったのです。後に国立国際美術館等もでき、中之島は文化面で大阪を引っ張ってきた場所です。今後その役割を担っていくでしょう。

芸事の世界では、キタはミナミと肩を並べる興業の中心でした。キタには様々な伝承や物語があり、浄瑠璃や文楽の題材の舞台になっています。昔から、新しい芸や文化が生まれる場所だったと言えます。

藤尾・中之島といえば水辺も魅力です。昔は北浜の辺りに貸ボートがあり、みんなが身近に水辺を楽しんでいました。橋爪・水辺をもう一度魅力的なエリアにしようと、大阪市・大阪府・経済界とともに、中之島周辺をはじめとする水都再生に取り組んできました。今では規制緩和等によって、水辺のレストランや飲食店が増え、水都大阪の魅力が高まってきています。都会にありながら、水辺で四季を感じる事ができるのも大きな魅力ですね。また「光の饗宴」のイベント等、美しい夜景の創出にも力を入れてきました。

橋爪・戦前の観光写真を見ると難波橋のライオンが大阪のシンボルだったことが分かります。都市の象徴となるものも、もう一度かたちにすることもいいですね。藤尾・大阪は水の都であるとともに、食の都です。食の分野でも、大阪らしさをもっと出せるのではないのでしょうか。天神橋筋商店街の中にも美味しいお店がたくさんありました。跡継ぎがおらず継承できないという問題もありますが、昔ながらの手作りの味を大事にすることが、食文化を守っていく上で大切だと思います。

——北区の魅力づくりに向けて

藤尾・北区では、区民の方に積極的に間口を広げて、色んなことに参画してほしいという姿勢が見えます。

橋爪・「楽しいことしましょう。なにか新しいまちをよくする活動をしましょう。」というアイデアがどんどん出てくれば、活動は広がっていきますね。



撮影協力：中之島 LOVE CENTRAL

園を整備し、東洋のバリ等と呼ばれる、日本でもっとも近代的なまちなみがここにできました。また、中央公会堂や朝日会館があったことで、世界の新しい文化や美術が、まずは北区から日本に紹介され広まっていったのです。後に国立国際美術館等もでき、中之島は文化面で大阪を引っ張ってきた場所です。今後その役割を担っていくでしょう。

芸事の世界では、キタはミナミと肩を並べる興業の中心でした。キタには様々な伝承や物語があり、浄瑠璃や文楽の題材の舞台になっています。昔から、新しい芸や文化が生まれる場所だったと言えます。

藤尾・中之島といえば水辺も魅力です。昔は北浜の辺りに貸ボートがあり、みんなが身近に水辺を楽しんでいました。

橋爪・水辺をもう一度魅力的なエリアにしようと、大阪市・大阪府・経済界とともに、中之島周辺をはじめとする水都再生に取り組んできました。今では規制緩和等によって、水辺のレストランや飲食店が増え、水都大阪の魅力が高まってきています。都会にありながら、水辺で四季を感じる事ができるのも大きな魅力ですね。また「光の饗宴」のイベント等、美しい夜景の創出にも力を入れてきました。

——魅力を高めたり、新たな魅力を

生み出していくために大切な事はなんでしょうか？

橋爪・新しいことをしたい人たちが集まることによって独特の集積を生み、それがまちの魅力になると思います。北区にも個人的なエリアは多い。たとえば、中崎町では長屋を再生させて店を構える人が増えてきた。地域の方が、わがまちの特徴をとらえ、そのまちらしさを活かしたまちづくりを進める事が大切だと思います。

藤尾・海外に行くと、そのまちのシンボルが必ずあります。たとえば、シンガポールであればマールライオン。このまちに来たという思い出に写真をとる場所が北区にも欲しいですね。中之島の東の剣先は、とても絵になる場所です。そこに何かシンボルになるものがあっても面白いと思います。

橋爪・戦前の観光写真を見ると難波橋のライオンが大阪のシンボルだったことが分かります。都市の象徴となるものも、もう一度かたちにすることもいいですね。藤尾・大阪は水の都であるとともに、食の都です。食の分野でも、大阪らしさをもっと出せるのではないのでしょうか。天神橋筋商店街の中にも美味しいお店がたくさんありました。跡継ぎがおらず継承できないという問題もありますが、昔ながらの手作りの味を大事にすることが、食文化を守っていく上で大切だと思います。

橋爪・食文化でいうと割烹は大阪が発祥です。お客さんの目の前で、熟練の技によって料理を提供する。また、お店の方とお客さんが対面しており、そこで生ま



橋爪紳也（はしづめ しんや）
大阪府立大学21世紀科学研究機構教授、同 観光産業戦略研究所長、大阪市立大学都市研究プラザ特任教授
大阪市出身。大阪府特別顧問、大阪市特別顧問、大阪府文化振興会議会長等、公職を兼務。大阪における水と光のまちづくりや大坂の陣400年プロジェクト等、大阪における都市再生や都市魅力創造の分野で活躍する。



藤尾政弘（ふじお まさひろ）
株式会社フジオフードシステム代表取締役社長
株式会社フジオフードシステムでは、「まいどおきに食堂」「串家物語」「かっぽうぎ」「つるまる」等、現在24業態689店舗を国内外に展開している。一般社団法人大阪外食産業協会筆頭副会長、大阪天神祭花火奉賛会会長、関西経済同友会「水都・大阪」推進委員会委員等、公職多数。



実践者に 聞く!

ミツバチで繋がる、 人とまちと、まちの緑。

NPO 法人梅田ミツバチプロジェクト 松本 剛

NPO法人梅田ミツバチプロジェクト/松本 剛(まつもと ごう)さん・42歳
ヤンマー株式会社・総務部兼社長室所属。地域に根ざした活動にも力を入れている。社歴は19年で、海外赴任期間を除く14年間を北区で過ごしている。「梅田ミツバチプロジェクト」のメンバーにはヤンマー社員と地域住民の半々の20名が所属。メディア露出がキッカケとなり、地域からも注目され、今のメンバーが集まってきた。今後もじわじわと着実に、地域へ広めていく。
NPO 法人梅田ミツバチプロジェクト HP : <http://ume-pachi.jp/>



大阪の中でも、最もビルが集積する地域のひとつでもある北区・茶屋町。屋上に巣箱が存在するだけで、限りなく自然が身近になるから不思議だ。
写真提供：NPO 法人梅田ミツバチプロジェクト

「NPO 法人梅田ミツバチプロジェクト」発起人の松本さんは、ヤンマー株式会社の社員として、経営陣のサポート業務や地域に根ざした活動を行なっている。「銀座ミツバチプロジェクト」の本を読んで感銘を受け「資源循環型社会をめざすわが社の理念にも通ずるし、大阪でもぜひやってみたいと思った」という。「東京に比べて緑が少ない」と言われて久しい大阪で、果たして都市養蜂は可能なのか。「分からないが、やってみよう」

と。結果は初年度で250kgのハチミツが採集でき、養蜂家も「十分の量だ!」と驚きだつたという。蜂は花をめざして一直線に飛ぶため、人間の生活圏内でそう頻繁に出会うことはないが、3月を迎え18℃前後を境に活動を始め、花を飛び回りながら蜜を集め、そして植物を受精させる。「ミツバチを目の前にすると、まちなかの自然環境を身近に感じます。」プロジェクトは地域メンバー

とともに進めており、2014年にNPO法人化した。「今後は、花や木をまちなかに増やす取り組みにも力を入れます。」花のつく木を近隣小学校へプレゼントして自然学習を展開。また、現在建て替え中の自社ビルが完成した折には、最上階にカフェテリアができ、その真ん中にはガラスで覆われた庭園と、巣箱が据えられる予定だ。「場ができれば人が集まる。ミツバチを通して自然と、そして地域との交流を生み出せればと思います。」

あなたは、自分のまちが好きですか。このまちで暮らすことが楽しいですか。自分はこのまちに必要とされていると思いますか。

かつて都市づくりは「お上」だけの仕事と考えられてきました。しかし、今は違います。都市は、様々な人が創造性を持ち寄ってつくりあげるものです。趣味も仕事もライフスタイルも多様化した現代社会では、すべての知識や技術が「お上」に集まっているのではなく、まちのあちこちにきらっと光る宝物のように散在しているのです。同じ人間は二人といたないので、この人の持つ技術、あの人の持つ人的ネットワーク、そしてあなたの持つアイデアは、他の誰も持っていないものかもしれません。それらを持ち寄ると、都市をより魅力的に変える力になりうるのです。だから、あなたはこのまちに必要とされています。

シビックプライドという言葉があります。「都市に対する市民の誇り」という意味で、「この都市をよりよい場所にするために自分自身が関わっている」という当事者意識がその基盤です。

私は、大阪はシビックプライドの強い都市だと思います。大阪を自慢に思う人が多いだけでなく、自分の好きなまちがもつと好きなまちになるように、自分の夢と重ね合わせて活動している人や組織がたくさんあって、実際にまちが目に見えて変わってきているからです。楽しみながらやるのが大切です。都市は想いを実現できる場なので、自分一人ではできないことも、都市を使い、都市の力を借りることで、実現できるかもしれません。

さて、北区では、あなたの想いを実現しながらまちをより魅力的に変えていこう、という新たなプロジェクトが始まっています。あなたのやりたいこと、活かしたい技術、共有したい趣味を持ち寄って、毎日がもつと楽しくなるまちへ。



伊藤香織 (いとう かおり)
東京理科大学准教授(都市計画学)
東京ビクニッククラブを共同主宰し、国内外の都市で公共空間プロジェクトを展開。シビックプライド研究会代表、都市と人とのコミュニケーションに関する調査と提案を手がける。

みんなの 想いが実現 できるまち

伊藤香織





大阪コミュニティサイクル COIDECO
 一般社団法人水都大阪パートナーズが自主事業として運営。水都大阪フェス 2011にパブリックスペースの利活用や、水辺の回遊性の向上等を目的とした、NPO法人パブリックスタイル研究所によるシェアサイクルの実証実験が元となり、「まち全体で自転車を共有する『コイデコ』」をキャッチフレーズに、大阪のまちなか移動や、船着場からの交通手段等、大阪の水辺やまちをより楽しむための仕組みとして展開している。
 大阪コミュニティサイクル COIDECO HP: <http://coideco.jp/>
 写真提供: 一般社団法人 水都大阪パートナーズ

実践者に
聞く!

連携で広がる、 大阪コミュニティ サイクルの可能性 COIDECO × HUBchari



シェアサイクルを運営する事業者同士の連携が始まっている。一般社団法人水都大阪パートナーズの運営する「COIDECO(以下、コイデコ)」と、NPO法人 Homedoor の運営する「HUBchari(以下、ハブチャリ)」の連携が2014年2月からスタートした。連携によって、ポートの相互利用が可能となり、利用者の利便性の向上につながっている。連携によるメリットはポート数の拡大だけではない。コイデコ事業部の松下さんは「ポート間の自転車回送や、自転車の修理・メンテナンスの面で助かっている」という。連携によって、コイデコはマンパワーの補強と、

自転車修繕の技術提供を受けられるようになった。ハブチャリでは、それらの活動拡大によって、ホームレス等の就労困難者の活躍の機会の創出につながっている。WIN・WINの関係が成り立っているのだ。「大阪コミュニティサイクルの普及に、一緒に取り組んでいく。」連携による新たな展開が楽しみだ。また、シェアサイクルの継続的な運営には、ポート数の拡



HUBchari
 ホームレス状態を生み出さない日本にするために、多様なアプローチでホームレス問題の解決に向けた取り組みを展開するNPO法人 Homedoor が運営。HUBchariは、ホームレスの方々の多くが特技としてもつ自転車修理の技術を活かしたシェアサイクルシステム。ホームレスの方や生活保護受給者の方に6ヶ月間の「就労リハビリ」という就労支援を行っており、これまで支援を受けた40%の方が次のステップに進んでいる。
 HUBchari HP: <http://www.hubchari.com/>
 写真提供: NPO 法人 Homedoor



大が不可欠だという。ビルや民間事業者の軒先、店舗の一面をポートとしているため、今後、場所や人(受付等)の協力が求められる。



実践者に
聞く!

企画づくりから 事業づくりへ。 みんなの夢を応援! NPO 法人チュラキューブ 中川 悠

NPO法人チュラキューブ理事長 中川 悠 (なかがわ はるか)・36歳
 株式会社講談社「KANSAI 1週間」編集部を経て、2007年に株式会社チュラキューブ/株式会社きびもくを起業。クリエイターのビジネス促進を掲げた取り組みや、障がい者の賃金向上をめざした「お墓参り代行サービス」、ニュータウンのコミュニティ再生を目的とした「六甲アイランドコミュニティクルー」等、人とまちを元気にするプロジェクトを多数手掛ける。
 キッカケ HP: <http://www.kkkk-funding.jp/>



クラウドファンディングサイト「キッカケ」は、さまざまな団体とのコラボレーションやイベントを予定しており、「何かが起こります!」と、中川さん。

「もともとは、編集者として雑誌で企画づくりをしていた経験が素地にあります。」中川さんは、2007年に独立すると株式会社チュラキューブを立ち上げる。前職で培ったクリエイターとのネットワークを活かし、大阪府や近畿経済産業局が主催する関西のものづくり企業とクリエイターをマッチングするサービスや、映像専門学校を東北へ連れて行き、震災ドキュメントの制作を通して技術を社会に役立てるプロジェクト等、

いずれも人と人を新たに繋げながらさまざまな事業をつくってきた。そして2012年に株式会社をNPO法人化する。「よりソーシャルな事業づくりをしていこう」と思っている。

そんな中川さんは、社会事業をつくる仕組みとして「クラウドファンディング」に注目し、「キッカケ」というサービスを立ち上げる。

「クラウドファンディング」——自分のやりたいことを企画に

し、予算を組み、さらにPRして賛同者から資金を集める。その資金を受け取る責任として、企画を遂行する。「仕組みが浸透し、例えば日々情報が集まるNPO中間支援団体や地域媒体の編集プロダクションが、企画づくりのコーディネーターとなり、仕組みの利用者が増えれば、たくさんの方が叶っていくと思うんです。」

そんな「利用者を増やすこと」にポイントを置いた事業を、この春から展開予定だ。

北区の
魅力向上の
可能性



“想い”をつなぐ、水辺の魅力

大阪商工会議所地域振興部課長 中村裕子



2006年から水都大阪の再生に携わり、行政・企業・地域をつなぎながら、「東横堀川水辺再生協議会」、「水と光のまちづくり推進会議」、「全国水都ネットワーク」等の事務局として水辺の魅力づくりに取り組む。

ご来光カフェ。川に囲まれた中之島で、10月の1週間だけ、生駒山から昇るご来光を楽しむ“水上カフェ”があります。澄み渡る空気、ご来光、赤く染まる水面…大阪のど真ん中で繰り上げられる、荘厳な自然の営みを感じてもらおうと、NPO法人もうひとつの旅クラブが2006年から行っています。舟運会社が会場として水上棧橋を提供し、多くのボランティアスタッフが日替わりで運営。たくさんの“想い”が繋がり、今や水都大阪の風物詩の一つになっています。

中之島に象徴される大阪の水辺は、この10年で大きく進化を遂げました。ハード整備はもちろんですが、それをもっと楽しみたい、伝えたい、というたくさんの人の“想い”が、中之島ならではの魅力を生み出しているのです。私のモーター（妄想）は、川に浮かぶ中之島を、上空から眺めること。気球？観覧車？それとも水上ロープウェイ？なんだかワクワクしてきませんか？さあ、あなたと一緒に、“想い”をつないでいきましょう！



株式会社電通関西支社。各種博覧会等を中心としたイベントプロデューサー。OSAKAあかるクラブでは、「世界的な観光都市OSAKA」の実現をめざして大阪を元気にするアイデアを提案実行している。

ソーシャルな活動から、未来の祭りをつくる

一般社団法人 OSAKA あかるクラブ専務理事 野上卓志

「一般社団法人 OSAKA あかるクラブ」は、世界的な観光都市 OSAKA をめざし、実際に行動する団体として立ち上げたボランティア組織です。サンタランに代表されるような、社会貢献と賑わい創出につながるイベント等を行っています。このようなイベントを考える時には、だれもが納得できる意義、「ソーシャルバリュー」を持ったものとして育てていく事が重要だと思っています。イベントが50年後、100後には、“祭り”になるように、みんなでつくり上げるプロセスを大切にしたいと思っています。グランフロント大阪では、従来の消費するだけの場ではなく、10年後、20年後も生き生きとしたまちであるために、命を吹き込むコミュニティが必要だという考えからソシオが生まれました。多様な人が主体的にまちづくりに関わる仕組みの中で、人よし、まちよし、社会よし「三方よし」の活動が生まれ継続し、まちの魅力となっていく事を期待して、チャレンジしています。

プロデューサーを惹きこむ魅力あるまちへ

株式会社 新産業文化創出研究所 廣常啓一



広告業界においてマーケティングやクリエイティブのディレクター、プロデューサーを経て、2005年株式会社新産業文化創出研究所設立。さまざまな分野のコンサルティングやプロデュースを行う。

人口減少の時代に入り、これまでの行政サービスを行政だけで維持していくのは難しいという大きな社会背景のもと、今後は、区民や企業、企業に勤めている方等、広義の区民を新たな担い手として迎え入れることが不可欠です。一方で、それは専門スキルや責任を持てば、NPOや活動団体も公共に資する事業に関わる機会が広がるとも言えます。新たな担い手を創出するために、NPOや区民をはじめ、企業や大学・研究機関等をつなぐプラットフォームをつくる事が行政の役割として求められていると思います。また、場を提供するだけでなく、多様な分野の主体を結びつけ、コーディネートできるファシリテーターやプロデューサーの存在が重要だと言えます。その様な人材が、このまちに来たくなる、このまちを使いたくなるように、北区らしさや地域のブランド力を高め、発信していく事が魅力創造につながっていくのではないのでしょうか。

北区プロデュース委員が語る！

北区の魅力向上の可能性

北区の魅力といっても、その分野はととても多様であり、魅力を高める方法も多岐に渡ります。具体的には、どのようなアプローチ方法があるのでしょうか。北区の魅力を高める可能性について、個性豊かな北区プロデュース委員会の委員のみなさんに、それぞれの専門分野から語っていただきました。

一杯のカフェの力を信じますか？

株式会社バルニバービ 代表取締役 佐藤裕久



アパレル会社を経て株式会社バルニバービを設立。大阪・南船場にて倉庫を改装したカフェ・レストランをオープンし、まちを変えた仕掛け人として注目される。全国で飲食店を経営、商業施設のプロデュースも手掛ける。

我々飲食業を営む者がまちに対して果たす役割は大きく二つです。一つは機能的役割、もう一つは情緒的役割、前者は当然ながら飲食物の提供で、外食産業が志すところですが、しかし私は後者を強く意識しています。どんなメニューを提供するかと同様にどんな時間を過ごしていただくかに注力しているのです。利用者が楽しめる豊かな時を提供出来ているか？わざわざお越しいただくに値するか？我々の施設がまちの魅力の構成要素となっているか？今迄決して民間が携わることのなかった行政管理地、中之島の川面煙めく水辺や公園の中でまちの彩りを添えるべくカフェの運営をさせていただいています。私はまちの魅力の最高の形は再生不能な個性の不可抗力の寄合により醸成されるのだと考えています。我々の提供する一杯のカフェで過ごしていただく時間がとびっきりなものであったら、ささやかでもまちの魅力構成する個性の一つとなっていくのではと思いを込めて…。



ベンチャービジネスの世界から50歳を契機に社会貢献と大阪への恩返しを決意。2008年SIOnetworkを設立。“大阪を変える100人”会議事務局を務め、若手社会企業家、ソーシャルビジネス支援等を行う。

ネットワークによる北区でのCB・SBの広がり

“大阪を変える100人”会議 事務局局長 施治安

限られた行政予算の中で「民」みずから自立的・持続的に地域社会の課題を担っていくため、北区でも収益を伴ったCB・SB事業が広がりを見せてきています。私も支援する北区内の社会的事業は、シェアサイクル HUBchari。発達障害・聴覚障害・不登校・引きこもりなど特別なニーズのある子どもたちのための家庭教師・個別学習塾等を提供する「あすはな先生」、糖尿病予防ベンチャー企業株式会社NOBORDER、北区社会福祉協議会の「まちともサービス」（高齢者セーフティネット有償ボランティア支援事業）、子どもキャリア教育のNPO法人JAE等多様です。今後はそれらが各々単体の活動領域に留まらず、市民・地域団体・企業・行政などと相互に協力を深めることで、北区がマルチパートナーシップを体現した、新たな公民連携に発展することを願いつつ、私自身もそれへ主体的・継続的に関わっていきたくと思っています。

CB・SB：コミュニティビジネス（CB）・ソーシャルビジネス（SB）とは、地域の資源（ヒト・モノ・カネ・情報）を活かして、地域や社会が抱える様々な課題を地域の住民が主体となってビジネス手法で課題解決に取り組むもので、地域の活性化や雇用の創出に寄与する地域貢献型のビジネスです。（出典：大阪市HP）

クリエイティブの力で企業やまちの魅力を高める

公益財団法人大阪市都市型産業振興センター クリエイティブネットワークセンター大阪
メビック扇町 所長兼チーフコーディネーター 堂野智史



財団系シンクタンクを経て、2003年より現職。メビック扇町では、クリエイターのネットワークづくりや情報発信、企業とのマッチング等のコーディネート活動に取り組む。関西大学文学部非常勤講師、地域産業おこしに燃える人（第二期）

大阪府下には約1万4000社のクリエイティブ事業者があり、北区にはその内の約3000社が集積しています。これは大きな地域資源であり、クリエイティブ分野のポテンシャルが高いまちだと言えます。メビック扇町では、クリエイター同士やクリエイターと企業等との出会いをサポートしています。単なるマッチングではなく、人と人とのコミュニケーションが取れる状況を提供することで、顔の見える関係から信頼関係を築き、それが協働へとつながるように意識してコーディネート活動を行っています。企業をはじめ、一般の方にもクリエイティブ産業の重要性を知らせることも重要だと思っています。クリエイターはプロモーションやブランディング等、商品やプロジェクト等の価値を高めるのに必要な能力に長けた人材です。その能力を企業や社会の中で積極的に活かしていくことで、新たな価値の創造につながり、まちの魅力を高めることにつながると思います。

魅力創造プロジェクト

北区魅力向上事業の中で生まれた、北区の新たな魅力づくりをめざしたプロジェクトです。「扇町公園魅力づくりプロジェクト」、「都会の菜園プロジェクト」、「憩いのお花畑プロジェクト」、「魅力発信プロジェクト」、4つの個性的なプロジェクトが、動き出しました！

扇町公園魅力づくりプロジェクト

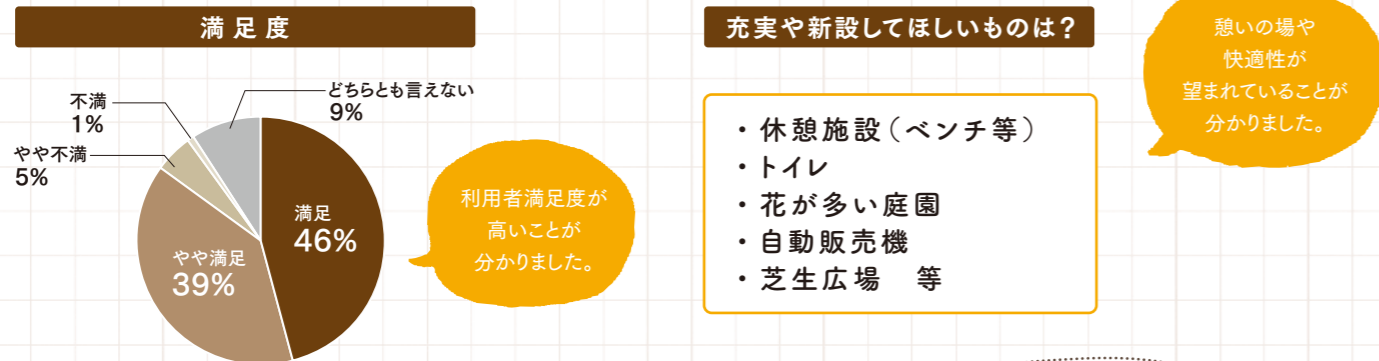
1 企画

扇町公園魅力づくりプロジェクトは、地域で活動する方々や周辺施設・企業の方々と一緒に検討を行いながら、北区の都市景観資源のひとつである「扇町公園」の魅力さをさらに高めることを目的としています。

- 扇町公園に関する情報収集や利用者アンケートを行い、公園の現状把握を行います。
- 地域で活動する方々や周辺施設・企業の方々が集まりともに検討する場を設けます。

2 取り組み

扇町公園の魅力を高めるため、現在の利用者の意向を知るためにアンケートを実施しました。



3 今後

今後も、地域で活動する方々や周辺施設・企業の方々が、一緒に話し合うラウンドテーブルを続けていき、できることから少しずつ取り組み、魅力的な公園づくりを進めていく予定です。

北区プロデュース委員が語る！

北区の魅力向上の可能性



三菱地所株式会社。大丸有協議会事務局長等を務め、丸の内の地域活性化・エリアマネジメントを推進した。2011年4月より、グランフロント大阪を中心に梅田地区全体のエリアマネジメントや新しい「まちづくり」に取り組む。

グランフロント大阪の新しい“まちづくり”

一般社団法人 グランフロント大阪 TMO 事務局長 廣野研一

グランフロント大阪 TMO では、官民連携によって、歩道の管理による環境美化や、道路上でのオープンカフェの出店による賑わいづくり等に取り組み、持続的で一体的なまちの運営を進めています。また、まちのブランディングとして、多様な人々の交流や感動と出会いを生み出す事を目的としたイベントを行っています。人々の心をつかみ、呼び込むものとして、音楽とスポーツと光の3つ要素を大切にしながら、これらをバランスよくこのまちの魅力として取り入れていきたいと考えています。夏のゆかた de 盆踊りでは、地域の方と交流・連携できたことが大きく、これをきっかけとして様々なつながりをつくっていききたいと思っています。また、祭りや盆踊りといった日本特有の文化は、まちを訪れた国内外の方々に楽しんでもらうとともに、まちに親しみを感じてもらえるものであることから、今まで以上に、地域の魅力として発信していきたいと思っています。

公民連携手法を活用したまちづくり

公立大学法人 大阪府立大学観光産業戦略研究所 客員研究員 松村 勉



公民連携、事業プロデュースを専門とし、観光産業戦略研究所では浙江大学(中国)との共同研究を担当。株式会社グローバル21他、グループ8社代表。京都大学公共政策大学院講師や沖縄県宜野湾市役所政策参与も務めている。

地域の魅力を高めていくためには、「公」と「民」の連携が大切です。そのためには、共創で目的を設定し、それぞれの「強み」と「弱み」をよく認識し合い、役割分担しながら事業を進めていく必要があります。一般的に、「公」は、理路整然と目的設定し、丁寧に仕事を進めますが、逆に言うと、文書を作りあげることが目的となってしまうたり、前例主義的な進め方になってしまうたりします。また、時間コスト等も忘れがちになります。一方で、「民」は、柔軟、スピーディに事業を進めるのは良いのですが、公の資産を使っている事業であっても、公平の原則をなぞりながら、自らの利益に走り過ぎてしまったり、また、当然、知っておくべき法律、条例、規則等への配慮を怠ったりし、上位政策との整合性も熟考しない事例を生んだりすることもあります。共創事業は、互いが優れた面を活かしながら、また、弱点を補いながら、本音で協働していくことが大切です。



めざすのは、地域密着型の放送局

株式会社毎日放送 経営戦略室エグゼクティブ兼事業局シニアマネージャー 松本 務

株式会社毎日放送にて、テレビ・ラジオ営業、ラジオ制作、テレビ編成、事業局等を経て、2013年7月より現職。グランフロント大阪での「おはなしシオ」活動キャブテンや「NPO 法人梅田ミツバチプロジェクト」理事等も務める。

株式会社毎日放送では、2014年4月、新館の完成と本館のリニューアルにより新生 MBS がランドオープンし、分散していた本社・番組制作機能が茶屋町に58年ぶりにひとつに集約されます。これまで以上に、まちの情報発信拠点として地域活性化にも貢献しながら、地域密着型の放送局「スーパー・リージョナル・ステーション」をめざしていきます。また、まちに開かれた「ステーション」として、本館一階は、通りから中を見通せるように改装し大型ビジョンやデジタルサイネージを設置します。アトリウムにはオープンスタジオやステージを整備し、まちを訪れた方が集まり、楽しめる場にしていきたいと考えています。また、茶屋町を中心に地域と連携したイベント等によって賑わいを創出すると共に、地域や視聴者・リスナーの方々と顔の見える関係を築き、MBS の特徴でもある身近な情報発信機能を大切にしながら、これからも地域の魅力を発信していきたいと思っています。

憩いのお花畑プロジェクト



1 企画

憩いのお花畑プロジェクトは、花や緑でゆとりある空間を区民と一緒につくることを通して、コミュニティを活性化させるとともに、地域への愛着を高めることを目的としています。

- 市の管理地を活用して花や緑を育てます。
- みんなで一緒にお花畑をつくり、維持管理していきます。
- 地域の美化や環境改善を図り、地域の魅力を高めます。

2 取り組み

市の管理地を活用したお花畑づくりを行うため、北区役所のホームページや広報紙などで広く参加者を募集しました。

また、北区内で花や緑の活動に取り組む団体の有志を募り、意見交換を行うことで、お花畑づくりの課題等を整理しました。

次に活用予定地の現地視察をしたところ、瓦礫や雑草が多かったことから、参加者ができる範囲で瓦礫を取り除いたり、雑草の根起こしをしたりして整地をするるとともに、現地の状況をみんなで共有しました。

みんなの力で瓦礫や雑草を取り除きました！



土の中は石や瓦礫が多くなかなかの重労働！



写真提供：北区役所

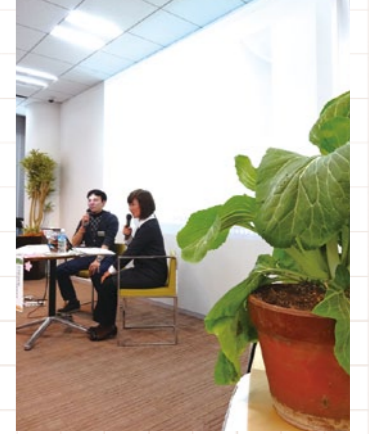


3 今後

今後も引き続き意見交換会等を行い、参加者の主体性を大切にしながら進め方の検討を重ねていきます。できるところからお花畑をつくっていき、地域の魅力を高めていく予定です。



都会の菜園プロジェクト



1 企画

都会の菜園プロジェクトは、屋上やベランダ菜園(家庭菜園)を通して、農作業や食育への関心を高めるとともに、天満菜(なにわの伝統野菜)を活用して地域への愛着を高めることを目的としています。

- 区役所にて屋上菜園の実証実験を行い、区民に向けた情報発信を行います。
- 講習会等を開催し、区民が「農」や「食」に関わる機会を提供します。
- 都会の農家(屋上やベランダ菜園者)等を中心に、「農」や「食」を通じたコミュニティづくりを進めます。

2 取り組み

北区役所の屋上を活用し、天王寺動物園で作られているサバンナ堆肥を用いて天満菜栽培の実証実験を進めています。また、講習会を開催し、参加者に天満菜の種等をプレゼントすることで、普及を進めています。

屋上・ベランダ菜園講習会

片桐新之介氏(NPO法人おもしろ農業)、難波りんご氏(天王寺蕪の会、阿倍野研究家)より、なにわの伝統野菜普及の取り組み紹介や、天満菜の育て方等をご紹介いただきました。参加者ワークショップでは、なにわの伝統野菜を広げるためのアイデアを出し合い、活発な意見交換が行われました。

天満菜を味わう料理講習会

大阪府漬物事業協同組合より天満菜や天満菜のお漬物を提供いただき、室田大祐氏(割烹「北新地むろ多」料理長)からは、おいしい調理法等をご紹介いただきました。

みなさんのアイデアがたくさん集まりました！

室田大祐氏からおいしい調理法が紹介されました！



写真提供：北区役所

3 今後

今後も引き続き情報発信や講習会等を行い、農作業や食育への関心を高めるとともに、天満菜を普及させていきます。また、「農」や「食」をテーマとした交流会やイベント等を開催していく予定です。



写真提供：浅香保ルイス龍太

魅力発信プロジェクト

北区役所が募集した「北区魅力発信サポーター」。
そこに集まったメンバーを中心に活動しています。
メンバーが主体となって、従来のパンフレットや市販本等には掲載されていない、
北区の素晴らしい地域資源(人、モノ、文化、歴史、伝統・・・等)の情報を集め、
本物の「魅力」をみなさんにお届けします!



1 きっかけ

北区魅力発信サポーターの募集に集まったメンバー。
北区に住んでいる、勤めている、遊びに来る、関わり方はそれぞれ。でも、みんな北区の魅力を知りたい、伝えたいという想いは共通でした。
情報発信といえばインターネットを通じて行うのが主流になってきていますが、インターネットに馴染みのない人たちにも伝えたい。また、手に取れる、残しておける、紙媒体のよさは絶対にある。そんな想いから、北区オリジナルのフリーペーパーを発行することになりました。
北区の最大の資源は「ひと」。そこにこだわりながら、北区の魅力を発信していく事をコンセプトにしました。名前は「つひまぶ」。つながる・ひと・まち・ぶんかの頭文字から取った、ちょっと言い間違えそうなわたしたちのフリーペーパーづくりが始まりました。

編集の経験者や
まちの経験者等、
個性豊かなメンバーが
集まりました!



2 苦労

メンバーの中には、取材・編集の経験者、ブログや SNS で既に自ら情報発信をしてきている経験豊富な方から、取材初めて!という初心者の方まで、メンバーによって経験も知識もまちまちでした。
一方で、作るからにはかつて発行されていた「あるっく」や「天満人」のように、中身の詰まった、充実したものになりたいという想いから目標を高く設定したため、メンバーそれぞれに苦労がありました。
原稿がなかなか書けない、書いてみると大幅に長い、校正の考え方でメンバー同士熱い議論になる場面もありました。

本当にゼロからの
スタート!
ひとつひとつの工程に
ハードルが...



※「あるっく」1997年より井上彰氏によって発行されていた大阪・天満を中心とした地元の情報を掲載したフリーペーパー。「天満人」は「あるっく」の内容をベースに追加取材、再編されたタウン情報誌。

3 工夫

チームで何かをつくり上げる場合、メンバーの得手・不得手はつきものです。魅力発信サポーターも、創刊号の発行に向けて活動しながら、進めやすい方法や、メンバーの特性に応じた役割分担を模索しながら進めてきました。
たとえば、遠方に住むメンバーには、離れていても参加しやすい校正の部分で活躍してもらった。絵が得意なメンバーは、記事だけでなくオリジナルの挿絵も作成しました。まだまだ試行錯誤しながらですが、メンバーの個性を活かしながら活動することは、はずせない部分だと思っています。



会議は平日の夜に開催。
熱い議論が飛びかう事も!



4 成果

フリーペーパー北区魅力情報発信誌「つひまぶ」創刊号を発行!創刊号では、はからずも、大正生まれの90歳以上の方が3人登場しています。北区にひとと歴史あり!そんな魅力が読んでくださった方に伝わると嬉しいです。キタを愛する人たちのための、キタを再発見するマガジン。ネットに載らない情報テコ盛りです。

私たちの
フリーペーパー
「つひまぶ」完成!



5 今後

「つひまぶ」の季刊発行をめざして、活動していきます。また、ブログなどを使った情報発信にも取り組んでいく予定です。
北区の魅力を、見て・聞いて・撮って・伝える。情報発信の当たり前の部分をまじめにやっけていき、ネット検索では出てこない、北区に確かにある魅力を、みなさんにお伝えしていきます!

次号に向けて
活動継続中!

ブログを使った
情報発信も!



「あなたが主役の、魅力あふれる北区へ。」

「わたしたちは「あなた」のワクワクをお待ちしています。

北区に関わる、ひとりひとりのワクワクを持ちよれば、きっと、もっと、きたくなる、ずっと、住みたくなるまちになる。

きたくナールBOOK 2013をお読みいただき、ありがとうございました。

北区ではじまった、まちの魅力づくりの可能性を少しでも感じていただけたなら幸いです。



■発行：大阪市北区役所
 【住所】大阪市北区扇町 2-1-27
 【TEL】06-6313-9549
 【HP】大阪市北区役所 <http://www.city.osaka.lg.jp/kita/>
 ■編集：総合調査設計株式会社+株式会社ワイキューブ ラボ
 ■デザイン：TAU GRAPHIC
 ■写真：楢 侑子
 ■イラストレーション：武田祐輔

■注書き：*本誌は無料でお配りしております。
 *本誌内容の無断転記、記載、複写をご遠慮ください。
 *本誌データは2014年3月20日現在の情報です。あらかじめご了承ください。
 *本誌は、平成25年度北区魅力向上事業委託業務で制作いたしました。

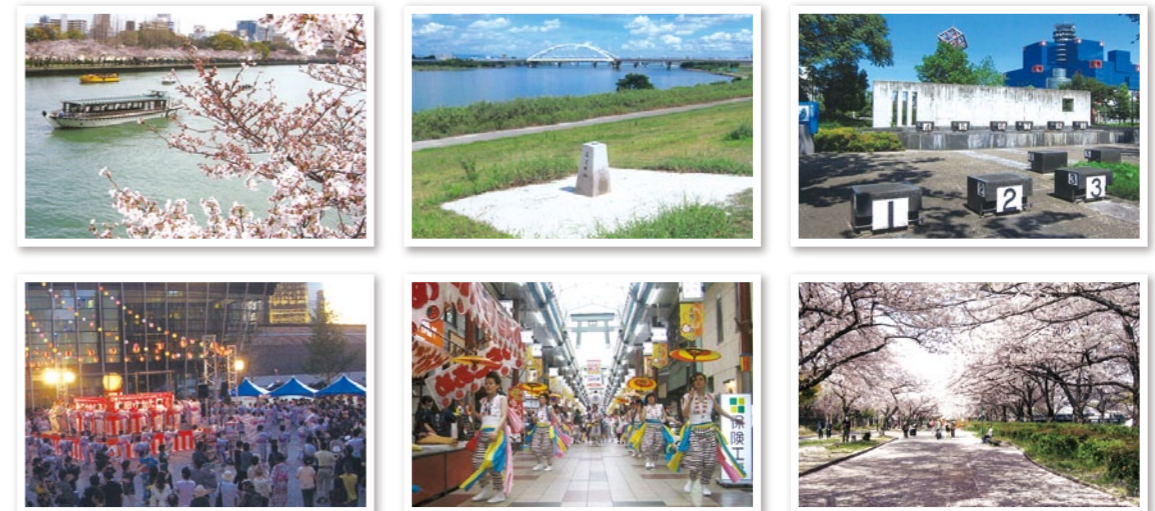
Copyright (C) City of Osaka All rights reserved.

北区情報

北区のデータ

		北 区	大 阪 市
面積（平方キロメートル）		10.33	223.00
推計人口（人）		118,277	2,680,869
内 訳	男	56,928	1,300,578
	女	61,349	1,380,291
世帯数		70,952	1,353,203
昼間人口		382,705	3,538,576
就業者数		313,116	1,978,015
通学者数		20,907	330,360
事業所数		26,325	189,234
工 業	事業所数	240	6,403
	従業者数（人）	5,016	124,088
商 業	卸売店数	1,866	16,368
	小売店数	2,227	20,121

出典：大阪市 HP 統計情報（2014年3月20日現在）



■本ページの写真は、きたくなるまちコンテスト・わがまち自慢「ええはがき部門」にご応募いただいた作品の一部を掲載しています。

北区魅力マップ



- 古きよき建築と橋**
 - 1 フジハビル
 - 2 天神橋
 - 3 日本キリスト教団
 - 4 西天満3丁目界隈
 - 5 大江ビルヂング
 - 6 大阪市交通局 曾根崎変電所
 - 7 大江橋・淀屋橋
 - 8 日本銀行大阪支店
 - 9 府立中之島図書館(旧館)
 - 10 水島橋
 - 11 大阪市中央公会堂
 - 12 難波橋
- 近松作品の舞台を訪ねるコース**
 - 1 梅田橋跡
 - 2 浄祐寺
 - 3 元桜橋南詰
 - 4 堂島薬師堂
 - 5 曾根崎川跡
 - 6 蛸橋銅板標
 - 7 史跡 蛸川跡 蛸橋
 - 8 露天神社(お初天神)
 - 9 法清寺(かしく寺)
 - 10 神明社旧跡
 - 11 大蔵寺
 - 12 大蔵寺
- 北区ゆかりの偉人コース**
 - 1 大塩平八郎墓所(成正寺)
 - 2 山片蟠桃墓所(善導寺)
 - 3 宝珠院
 - 4 緒方洪庵墓所(龍海寺)
 - 5 池上雪枝感化院跡
 - 6 泉布観
 - 7 旧造幣寮鑄造場 正面玄関
 - 8 旧造幣寮正門
 - 9 大塩の乱 槐(えんじゆ)跡
 - 10 川崎東照宮跡
- 老舗と職人さんコース**
 - 1 大蔵堂
 - 2 史跡 夫婦橋
 - 3 藤為金網師製造所
 - 4 御菓子司 薫々堂
 - 5 國重刃物店
 - 6 浪華昆布
 - 7 印章三枝堂
 - 8 大阪ガラス発祥之地
 - 9 印章三枝堂
 - 10 浪華昆布
 - 11 國重刃物店
 - 12 藤為金網師製造所
- 商いと人情のまちコース**
 - 1 菅原町の土蔵
 - 2 天満青物市場跡
 - 3 天満の子守歌(歌碑)
 - 4 淀川三石船舟唄碑
 - 5 天満興正寺御坊址
 - 6 天満組惣会所跡
 - 7 川端康成生誕之地
 - 8 西山宗因向米庵跡
 - 9 大阪天満宮
 - 10 天満天神繁昌亭
 - 11 天神橋筋商店街
- 迷宮のレトロタウン 中崎町界隈コース**
 - 1 天五中崎通商店街
 - 2 浄方寺
 - 3 創思舎
 - 4 中崎西3・4丁目四つ辻
 - 5 白龍大神
 - 6 Salon de AmANTO 天人
- 淀川の風に歴史を感じるコース**
 - 1 国分寺
 - 2 鶴満寺
 - 3 鶯塚
 - 4 毛馬第1閘門
 - 5 神木の楠
 - 6 豊崎神社
 - 7 佐伯祐三生誕之地
 - 8 富島神社
 - 9 カンテグラナデ 中津本店
 - 10 南蛮文化館
- 過去と未来時間のふりこを楽しむコース**
 - 1 北向地藏尊
 - 2 齒神社
 - 3 凌雲閣跡
 - 4 鶴乃茶屋跡
 - 5 網敷天神社御旅社
 - 6 梅北地下道
 - 7 新梅田シティ
 - 8 八阪神社(大仁八阪神社)
 - 9 曉鐘成墓所(勝楽寺)
 - 10 素盞鳥尊神社(浦江八坂神社)

凡例

- 都市景観資源
- 伝統文化・工芸
- 船着場

■地図上の8つのまち歩きコースは、北区小さな旅ブック・まちと歴史を楽しむ8コースの内容を掲載しています。